

## 令和5年度 学校評価（目標設定）

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<p>①再編成した教育課程に基づき、より良い授業づくり、実践を行う</p> <p>②児童・生徒一人ひとりの自立と社会参加を目指す小学部・中学部・高等部の学習内容の精選を行う</p>	<p>①カリキュラム・マネジメントを推進し、身につけさせたい力を明確にした指導計画を立て、ねらいを明確にした授業を実践・改善する</p> <p>②自立と社会参加のために必要な資質と能力の育成を目指し、小・中・高での学びの系統性・連続性を意識した学習内容の精選を図る</p>	<p>①「カリキュラム・マネジメント要綱」及び「個別的教育支援計画作成マニュアル」を活用し、計画・実践・評価・改善のサイクルによる授業の充実を図る</p> <p>②小・中・高の学部間、部門間の連携をさらに進め、教育活動の目標設定や学習内容の系統性・連続性を踏まえた整理を行う</p>	<p>①身につけさせたい力を明確にした指導計画により、何ができるようになるのか、何を学ぶか、どのように学ぶか、を押さえた授業実践と改善が行われたか</p> <p>②学びの系統性・連続性を意識した教育活動の目標設定により、段階的な学習内容の再構築が図られたか</p>
2 児童・生徒指導・支援	<p>①アセスメントに基づくエビデンスのある指導・支援を実践する</p> <p>②保護者、専門職等との連携を図り、チーム力を活用した指導・支援を実践する また、医療的ケアの安全な実施を推進する</p>	<p>①アセスメントを全校レベルで計画的に実施し、評価を活用した指導計画と授業実践を定着させる</p> <p>②医療的ケアをはじめとする教育活動の安全な実施と事故防止に向けて、保護者の理解と協力を得ながら、チーム力を発揮した安全体制を構築する また摂食指導の意識を高め、より良い給食指導に取り組む</p>	<p>①アセスメント及びエビデンスに関する研修を重ね、その意義と活用について共通理解を図る</p> <p>②各種マニュアルの再確認と改訂作業を重ねながら、関わるスタッフの安全意識と協力体制を深化させ、事故が起きない環境を整えていく 専門職と連携し、実態と課題に応じた摂食指導の検討や研修を行う</p>	<p>①アセスメントを活用して指導計画を立て、その計画を実行した結果の児童・生徒の変容を評価し計画の改善に生かされたか</p> <p>②わかりやすいマニュアルになるよう改訂を重ね、ヒューマンエラーを抑止するチーム力の発揮により、安心安全な教育活動が実施できたか 配慮食や摂食指導の改善が進み、給食の指導力が向上したか</p>
3 進路指導・支援	<p>①関係機関と連携し、自立と社会参加をめざす進路指導・支援の充実を図る</p>	<p>①高等部段階での進路のマッチングを充実させるとともに、自立と社会参加のためのスキルアップを小中学部の早い段階から図っていく</p>	<p>①全校の保護者向け、また職員向けの進路研修会、説明会、見学会などを実施し、系統性・連続性のある進路指導・支援の充実を図る</p>	<p>①各学部への進路情報提供の充実が図られ、研修会・見学会等への参加者範囲の拡大がみられたか</p>
4 地域等との協働	<p>①共生社会の実現に向け、地域や関係機関等との連携により児童・生徒の社会貢献を促し、自己有用感を育成する</p> <p>②センター的機能のめざすべき新たな方向性の検討と諸機関の連携による実践を推進する また、効果的なコミュニティ・スクールの実践的検証を行う。</p>	<p>①「地域を第2の教室に」構想の質を見直し、地域活動の取組を継続、深化させ、児童・生徒の社会貢献を促進し、自己有用感を育成する</p> <p>②地域の小学校との人的交流の継続を軸に、インクルーシブの深化と拡大を促進する 共生社会推進協働本部と連携を取りながら、地域とのつながりを構築していく</p>	<p>①地域活動の質を高めていくために児童・生徒に身につけさせたい力を明確にして持続可能な活動に取り組んでいく</p> <p>②インクルーシブな学校づくりに向けて広く共通理解を図り協働意識の醸成を図る 協働本部を持続可能なハブ機関として連携を取りながら、地域活動に本格的に取り組んでいく</p>	<p>①教育課程に位置付けられた地域での学習活動により、児童・生徒の社会貢献を促進し、自己有用感を高められたか</p> <p>②地域の小学校との人的交流を要として、持続的・発展的なインクルーシブな学校づくりを促進できたか 協働本部との連携による地域活動の幅が広がり、相互に充実した取組ができたか</p>
5 学校管理 学校運営	<p>①教員の人格的資質および専門性の向上を図る</p> <p>②安全で安心できる校内体制の整備を推進する また、実践的な防災のあり方検討と訓練等を実施する</p>	<p>①全教員が授業公開・授業改善に取り組み、授業力・指導力の向上に努める</p> <p>②安心・安全な教育環境を提供するため、特に防災訓練においては災害対応能力を向上させる取組を行う</p>	<p>①学校公開や授業参観にも積極的に取り組み、開かれた学校を再構築しながら授業力・指導力の向上を図る</p> <p>②発災時を想定した定期的な防災訓練を積み重ね、避難所開設訓練を生徒参加で行うなど、より実践的な防災訓練に取り組む</p>	<p>①指導立案から授業実践、評価、改善にチームで取り組み、自身の授業力・指導力を向上させることができたか</p> <p>②あらゆる事態を想定した災害時の対応が準備できているか</p>